

## 2020 南千住駅前保育所における自己評価

今後さらに向上を目指す点(改善点)・・・●  
評価が高い項目で引き続き意識を高めていきたい点・・・○

自己評価の観点	評 価			
1、園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について	A大変よい	Bよい	C一部検討	D改善を要する
①会の保育理念、園の保育方針、保育目標を理解し、かつ課題を共有している ②会の保育理念、園の保育方針、保育目標を理解し、かつ課題を共有している ③会の保育理念、園の保育方針、保育目標を理解し、かつ課題を共有している	2	18	2	0
<b>個人の意見</b> ●最低限の決まり事、約束事など、何度言っても理解できない？または、守れない？守らない？方々が、複数いる。 仕事を円滑に進める、足かせとなっている。 ●指導計画の活用	<b>今後考えられる具体的な対策</b> ・課題の共有という点が低いと思われるので、全員が認識できるように話し合いを持つ ・全体で約束事を確認し、意見がある人には出してもらおう(不満を含めて) ・各個人が自覚をもって仕事をする・個人的に話をする ・個人指導をする。できない理由をはっきりさせる。 ・ドキュメンテーションを通して少しずつ話し合いが出来ている。今後毎日短時間ミーティングの中でその日にあったエピソードを盛り込んでいく(1日数分の話し合いからスタート)			
2、保育について ①一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている ②年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している ③評価、資料(諸記録)を集積している ④園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している ⑤気候や子どもの活動に合わせ、温度・湿度・喚起・照度など配慮している ⑥季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている ⑦子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています ⑧それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している ⑨保育についての話し合いをよくしている ⑩保育士自身が楽しんで保育をしている ⑪それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	3	18	1	0
	5	14	3	0
	5	16	1	0
	5	14	2	1
	4	15	3	0
	4	13	5	0
	5	13	4	0
	8	11	3	0
	9	8	4	1
	9	10	3	0
	4	14	4	0
<b>個人の意見</b> ●テラス環境整備 ●話し合いは行うようにしているが、情報共有と実施の面で課題がある。 ●季節を感じられるように、自然物を飾るなどしていきたい。 ●子どもたちが楽しく過ごせるように、特に夕方の活動を工夫していく。 ●子ども達の遊ぶ姿からどんなヒントを得て遊びを広げていけるようにクラスの中や新人・中堅・ベテラン職員の意見や思いを共感し、共有できる場を設けていける時間を作っていけると保育がもっと楽しくなると感じた。 ●一人ひとりに対しての保育の進め方、主体性のある保育。 ●子ども達のことを考え、時には長年やってきたことを変更した方が良いこともあるので、今以上に職員間でコミュニケーションをとり、情報を共有し試行錯誤をしていく。  ○記録やミーティングから翌日翌週の計画、実践方法を作り出す基盤作り ○保育士自身が楽しい保育の部分でア自分の個性を強みとして保育に生かす ○子どもが楽しいと感じ、自分自身で考え、伸び伸びと過ごすためには、保育士間の連携や協力が必要不可欠であると感じます。昨年度よりも自分の意見や思っていることを伝えることを意識し、実践することができたので今後も継続して、より意識を高めていきたいと思えます。 ○子どもの発見や気づき、遊びに対して広げていくこと ○職員間での情報共有、並びに日々のコミュニケーションでより良い保育の実現が出来たので今後もその雰囲気大切にしていきたい	<b>今後考えられる具体的な対策</b> ・意見を言いやすい関係をどのように構築していくか、一人ひとりの意識改革をする。 ・保育士間のミーティングをどの時間に作るか。またコミュニケーションしやすい雰囲気づくりをどのようにしていくか。 ・ふと思いついたことを、小さなことでも声に出してみる、そこから広がることもあるかも。 ・2019対策を継続する ★2019今後考えられる具体的な対策 ・ホワイトボードの役割を明確に把握できるようにする ・前日の話し合いを密にする。 ・webを活用し、今の子の姿や遊びたい物、用意する物等をクラスミーティングで話し、クラス担任の意見やアイデアを出し合い充実を図る ・一つ一つの仕事を丁寧にに取り組んでいく。話し合う時間を作るには、業務を効率よく行い、話し合う時間を確保していく。情報共有は、職員連絡表を必ず見る、記入することを徹底していく。 ・改善中 ・クラス会議の充実 ・方針や活動の意図を伝えていく。そのために毎日のミーティングやクラス会議を行っていく。意見を言いやすい関係づくりに努める。			
3、健康管理について ①日々の園児の健康状態を観察し、一人ひとりの体制に合わせた保育を心がけている ②玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している ③乳幼児突発死症候群(SIDS)や感染症の予防の対策やマニュアルが用意されている	4	17	1	0
	7	10	4	1
	14	7	1	0
<b>個人の意見</b> ●感染症対策の為、密になる状況を避けながら、いかに安全に安心した保育を目指していけるのが課題です。  ○クラス内や玩具の衛生面には、引き続き配慮していきたい。	<b>今後考えられる具体的な対策</b> ・SIDSや感染症の知識を高めるための、園内研修をする。 ・玩具の消毒の徹底。 ・玩具室内の衛生面を保つための消毒方法。 ・朝傷に気づけないこともあったので受入れ時の指針を丁寧にする。 ・洗浄できる玩具は、週1回でも洗浄する。 ・毎日拭く			

		A大変よい	Bよい	C一部検討	D改善を要する
4、行事について					
①行事の種類や実施回数は適切である		7	11	4	0
②行事のねらいを計画や実施に十分生かしている		3	15	4	0
<b>個人の意見</b> ●コロナ流行の中で、制限され出来ないことが多い一年であったので、Aとしたい項目もBとした。これを機会に新しい方法も見つけ出していく。 ●行事内容の検討		<b>今後考えられる具体的な対策</b> ・保護者の要望を加味した行事の見直し。 ・コロナ禍だから出来た行事もあったので行事内容、やり方を見直す。			
5、食育について					
①食育を通して子ども達が楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している		9	8	4	0
②旬の物や季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている		7	11	4	0
③調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている		5	13	4	0
<b>個人の意見</b>		<b>今後考えられる具体的な対策</b> ・野菜について、クイズを出しながら興味につなげる。 ・感染症対策をしながらできる食育を考える。 ・絵本を通して野菜を伝える。 ・保育士目線の楽しい食育活動を提案してもらう。 ・子ども達とのコミュニケーションをとる方法を考えたい。(月1.2回食育の話をつたうなど) ・マスクをして口を動かす様子を伝えることが難しい。→もぐもぐ絵本食育に繋がるマグネット遊び(咀嚼)			
6、運営について					
①園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。		4	15	2	0
②各種会議を適切にかつ効率的に進めている		2	11	5	2
③打ち合わせ回数、時間、内容は適切である		1	11	8	1
<b>個人の意見</b> ●職員同士でのミーティングで親交、方向性の一致。休憩時間の回し方。 ●職員同士の話し合いをもっと密にしていく。 ○ミーティングの充実		<b>今後考えられる具体的な対策</b> ・話し合いの重要性を考えるとともに、休憩との兼ね合いをどのようにするか。話し合いの際保育をどのようにするかを考える。 ・休憩時間を見直す。 ・ミーティングの内容を明確にしていく。 ・ミーティング時間を決める。 ・ふとしたことでも、思ったことを声に出してみる。 ・雑談の中から良いアイデアが生まれてくる。 ・会議の開始、終了時間を明確にして、次に行うべき仕事の段取りをしやすくする。 ・全体会議でのリーダー会議報告は重複するので、報告を聞いてクラス内での意見や質問を全体会議で議題としていく ・休憩に入る前に、簡単にミーティングを行っていく			
7、保健・安全指導について					
①年齢別・クラス経営に生かされるような具体的な保健対策を講じている		2	18	2	0
②避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している		7	13	2	0
③事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている		5	13	4	0
④廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している		6	12	3	0
⑤室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている		6	11	5	0
<b>個人の意見</b> ●法人の事故防止指針に基づいた対策の見直し。 ●清掃に対する意識の違いもあり、クラスによって清掃が行き届いていない。 ○安全指導について ○清掃や消毒等の衛生面を引き続き徹底していきたい。		<b>今後考えられる具体的な対策</b> ・年度初め、担任同士でずれを確かめる(クラスごとの清掃の統一化) ・半期ごとに掃除の場所の振り返り、やり方を検討し周知。リスト作成 ・最低限決められた担当部所の実施する(クラス内の役割分担)・幼児クラスのスリッパの整理整頓子ども自身が出来よう徹底 ・子どもだけでなく、大人が見本を示す ・ヒヤリの報告書を全員目を通す。職員間で周知し検討する流れを作る			
8、研修・研究について					
①実践研究に取り組み、日常の保育を生かし、子どもの育ちに反映させている		3	15	2	0
②部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている		6	14	1	0
③研修報告を園内で実施している		9	10	2	0
<b>個人の意見</b> ●園内研修や研修報告の参加の仕方、時間設定		<b>今後考えられる具体的な対策</b> ・研修報告参加への強制力を高める ・保育士などの保育に対するモチベーションの違いを全体で確認してもらう。 ・報告者が誰なのか分かるように可視化する(テーマも) ・研修報告は発表時間を決める ・期限を守って配布する。意見疑問をもって参加する ・クラスごとに、発表者への質問を出して当日答えを聞く。 ・ぽかぽか会議(ドキュメンテーションの各クラス紹介し合う)の内容を深める			
9、情報について					
①園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している		11	10	1	0
②園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している		12	9	1	0
③各表簿は、適切な時間・方法でさくせい・処理している		6	13	1	0
<b>個人の意見</b>		<b>今後考えられる具体的な対策</b> ・PCセキュリティーの強化 ・コドモン連絡帳を閉じることを徹底する ・置いて良い場所を決める。 ・申し送り表をPCベースで入力はどうか？			

10、設備について

- ①施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている
- ②掲示板、掲示場所等を適切にかつ効果的に活用している

A大変よい	Bよい	C一部検討	D改善を要する
7	13	2	0
4	17	1	0

個人の意見

今後考えられる具体的な対策

- ・自分たちに修繕できるところに行く。
- ・安全点検して問題が出たところは全クラスで共有する。(危険個所の周知)全体会議で
- ・週案を廊下に掲示することで見れない保護者もいる(にじぐみ)

11、保護者支援について

- ①子どもの送迎時に子どもの様子を伝え合うようにしている
- ②クラス懇談や個別懇談を行っている
- ③入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的を分かりやすく説明し、情報提供を行っている
- ④保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている

A大変よい	Bよい	C一部検討	D改善を要する
13	7	1	0
9	7	5	0
5	9	7	0
7	7	8	0

個人の意見

●保護者の方との直接的で個別な関わりが、昨年度よりも少なくなってしまうので、より積極的な態勢をとってコミュニケーションを欠かさずにとっていきたいです。  
○保護者対応は、その日の子どもの様子が分かるように、エピソードを伝えるようにしているので継続していく。また、引き続き丁寧に対応していく。  
○現在はコロナ禍で園内に人が入りにくくなっている中で、できるだけ園内の様子や子ども達の姿をお伝えできるか日々考えながらより良い保育を目指していかなければいけないと思っている。

今後考えられる具体的な対策

- ・写真、動画など視覚で伝えられるために日々の保育を撮る流れで作る
- ・連絡帳で具体的に子どもの遊び、様子を伝えるようにしていく。
- ・懇談会で動画や写真を使って具体的に伝える。
- ・感染防止の点から、直接伝えるのは短時間とする。怪我等以外はコドモンで知らせる
- ・進級の様子を動画で知らせる

12、開かれた保育所づくりについて

- ①園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している
- ②職員による育児に係わる「子育て相談」は充実している
- ③医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している
- ④中高生の職場体験や実習生の受け入れを体制について、その意識や方針を全職員が理解している
- ⑤来客や地域の方に明るく挨拶をしている

A大変よい	Bよい	C一部検討	D改善を要する
5	14	2	1
4	14	3	1
4	13	2	2
2	12	6	0
12	9	0	0

個人の意見

今後考えられる具体的な対策

- ・専門機関と連携を図る時は、どういう時なのかを園内研修を行う。
- ・医療機関等専門機関を保育士等で共有できるようにする。
- ・感染症を考え消毒を徹底していく。

13、情報発信について

- ①園だより、すこやかネット等で、情報発信に努めている
- ②行事や子育て支援等を、地域や小学校等に対して周知している

A大変よい	Bよい	C一部検討	D改善を要する
10	9	2	0
6	11	3	0

個人の意見

●保護者や地域に対しての情報発信  
○保護者への 情報発信をこれからも行って行く。保護者への丁寧な対応を行っていく。  
○コドモンやすこやかねっとによる保護者への情報発信

今後考えられる具体的な対策

- ・ブログの利用を増やす。
- ・コドモンを活用しつつ口頭で伝えるものは伝えていく
- ・クラスだよりからぼかぼか日記へ移行するので、子ども達の様子とお願いごとを記載していく
- ・みんなが継続できるブログの発信方法を探る

「その他」○今のところ、私にとって、この園で評価が高い項目はありません。